

概要版

# 第2期舟橋村人口ビジョン

令和3年3月

舟橋村

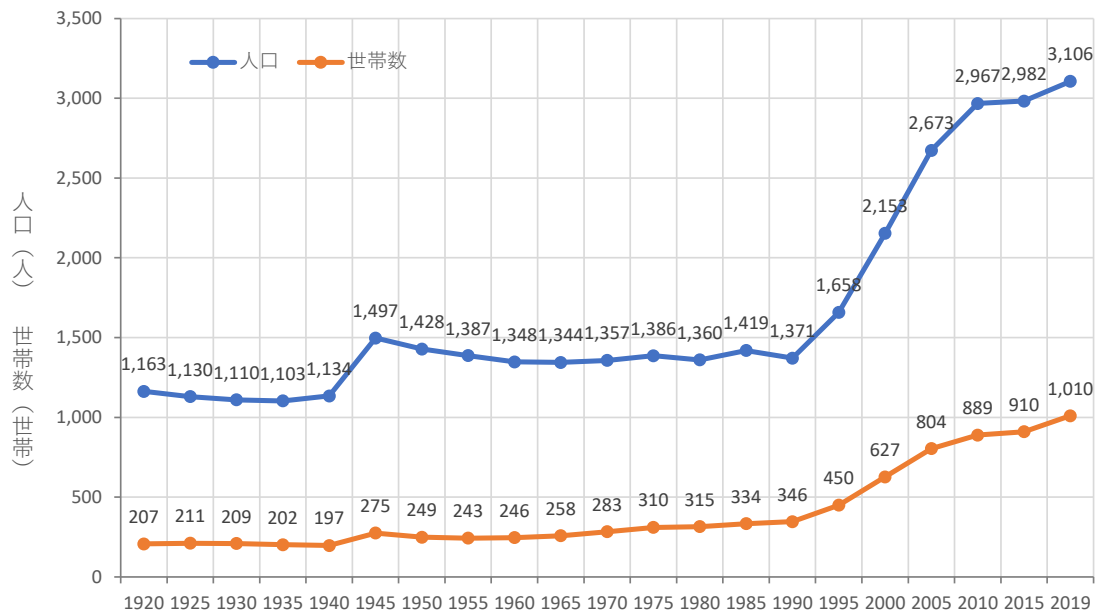
## 1. 舟橋村の人口動向

### (1) 総人口・世帯数の推移

1950年から1990年（H2）にかけて本村の人口は1,400人（300世帯）前後で推移していたが、住宅地開発を進めた1989年以降人口が急速に増加し、2010年には2,967人（889世帯）となった。2007年以降、住宅開発件数は鈍化しており、人口も横ばいとなった。

舟橋村総合戦略を開始した2015年以降は、再び人口、世帯数が増加している。

図表 総人口・世帯数の長期推移



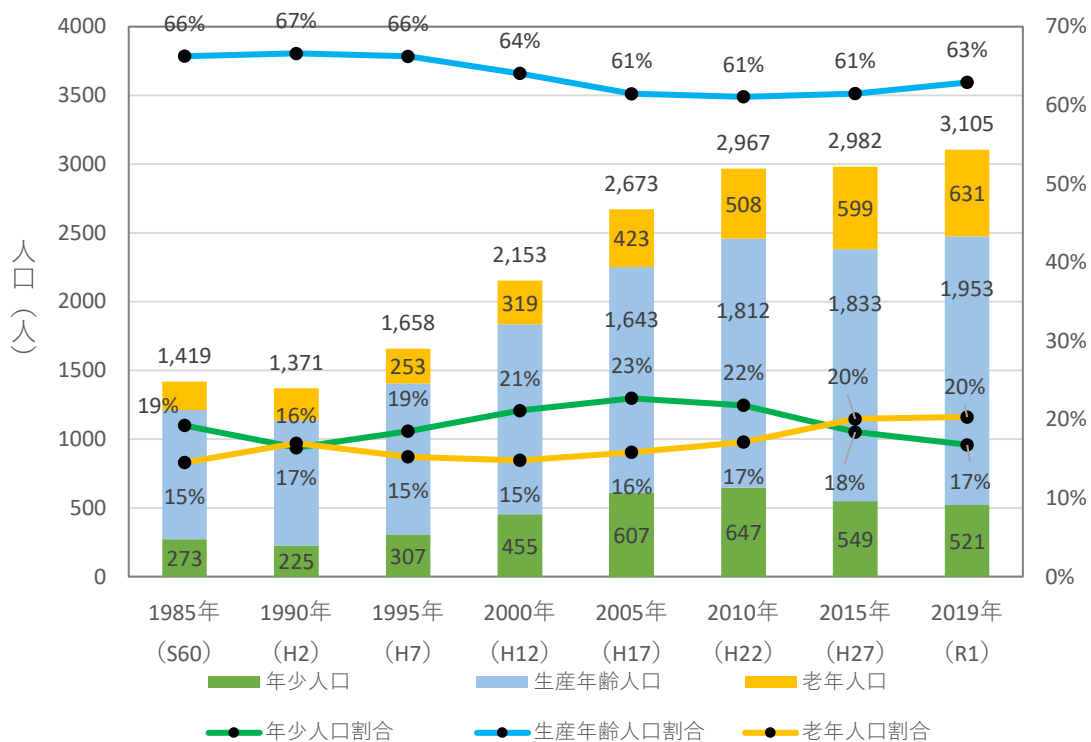
※2015年までは国勢調査、2019年は富山県人口移動調査（集計方法は平成27年10月1日実施の国勢調査確報値による人口及び世帯数に、市町村に届出のあった出生・死亡・転入・転出者数を加減して算出）

## (2) 年齢3区分人口の推移

2019年の本村における年齢3区分別人口及び構成比は、年少人口（0～14歳人口）が521人（17%）、生産年齢人口（15～64歳人口）が1,953人（63%）、老年人口（65歳以上人口）が631人（20%）となっている。

生産年齢人口に関しては、2015年の1,833人から2019年は1,953人と120人（6.5%）増加している。

図表 年齢3区分別人口の推移



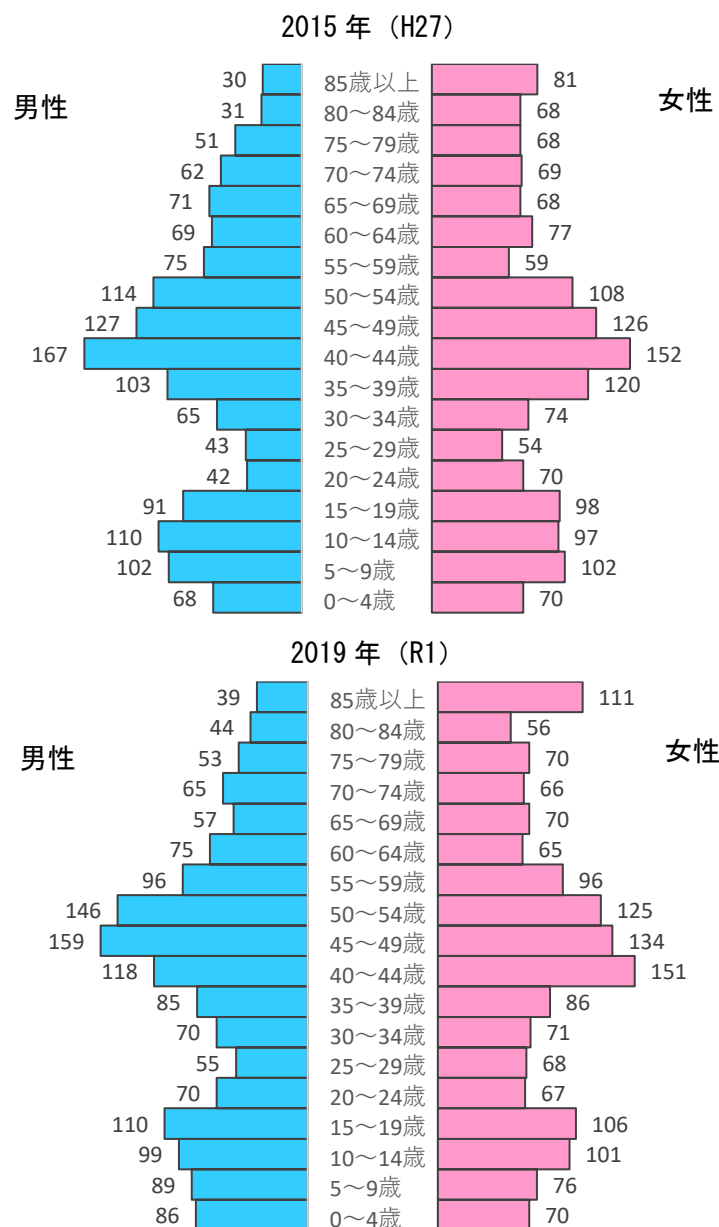
※2015年までは国勢調査、2019年は富山県人口移動調査（集計方法は平成27年10月1日実施の国勢調査確報値による人口及び世帯数に、市町村に届出のあった出生・死亡・転入・転出者数を加減して算出、年齢不詳を除く）

### (3) 人口ピラミッド

団塊ジュニアの世代が多く、2019年においては45～49歳が最も多い。

2015年の20～39歳を、2019年の25～44歳と比較すると、各年齢階層において増加している年代が多く、若い人の転入超過傾向が伺える。

図表 人口ピラミッド



※2015年は国勢調査、2019年は富山県人口移動調査（集計方法は平成27年10月1日実施の国勢調査確報値による人口及び世帯数に、市町村に届出のあった出生・死亡・転入・転出者数を加減して算出、年齢不詳を除く）

## 2. 第1期総合戦略の実施による効果

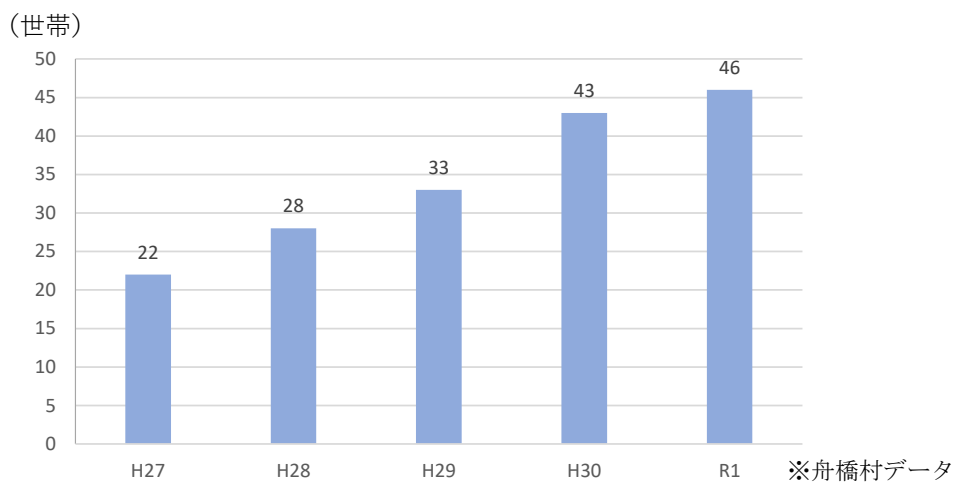
### (1) 若い世代の転入

目標値 40 世帯／5年 (H27～R1) ⇒ 実績値 172 世帯／5年 (H27～R1)

※若い世代：20代・30代の新婚及び子育て世帯

若い世代の転入世帯数は、着実に増加傾向にあり、目標値（40 世帯／5年）の4倍を超える実績（172 世帯／5年）を達成している。

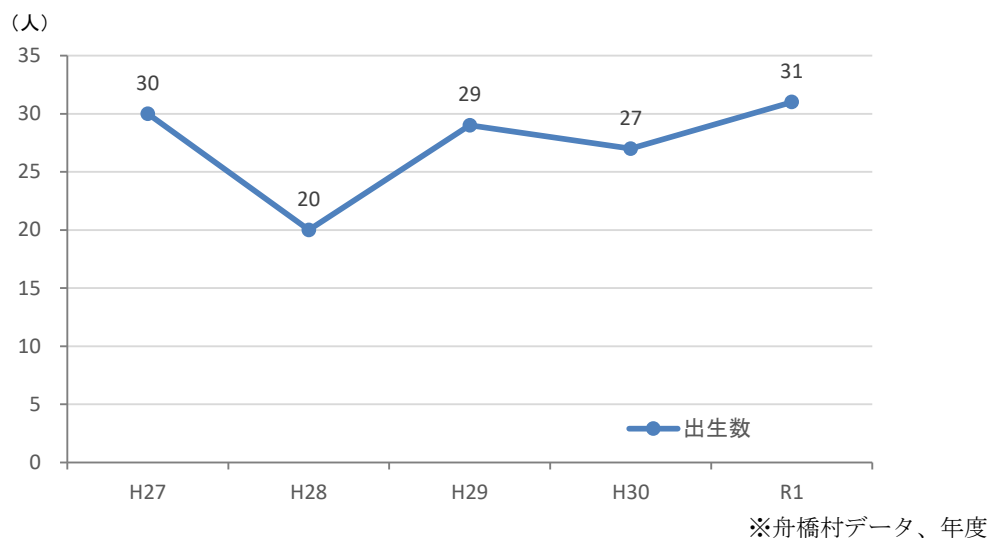
図表 若い世代の転入数（世帯）



### (2) 出生数（目標水準を達成）

目標値 149 人／5年 (H27～R1) ⇒ 実績値 139 人／5年 (H27～R1)

図表 第1期総合戦略策定後の出生数の推移



### 3. 人口ビジョン

#### (1) 将来人口目標

##### ①考え方

第1期人口ビジョンは平成27(2015)年に策定しており、子育て世代の転入促進を図りながら、出生率の向上を推進し、人口構造を維持する目標が設定されている。

第1期総合戦略に基づき実施した各種創生事業により、本村では子育て共助のまちづくりが進み、若い世代の転入、出生率の向上が達成されている。一方、今後の人口の見通しを推計すると、長期的な人口構造を維持するためには、高い出生率を達成するとともに、若い世代の転入を継続的に確保していくことが必要である。

本村では、長期的な人口構造の維持を目標とし、一定数の転入の確保、高い出生率の達成を目指すことを方針とする。

##### ②転入数、出生率の目標

人口構造の維持を目標とし、人口ビジョンにおける転入数、出生率を以下の通り設定する。

###### 【出生率の目標】

- 高い水準である国の推計値を達成する

(2025年1.798、2040年1.831、2060年1.826)

※H30とR1の村の出生率の平均は1.82

###### 【転入数の目標】

- 人口構造が維持できるための20代・30代の転入者数を確保する

～2030年：5年間で20世帯(40人)

～2040年：5年間で30世帯(60人)

～2045年：5年間で36世帯(72人)

～2055年：5年間で40世帯(80人)

##### ③総人口の目標

総人口は、2040年において2,978人(2020年比▲127人)、2060年において2,768人(2020年比▲337人)を目指す。

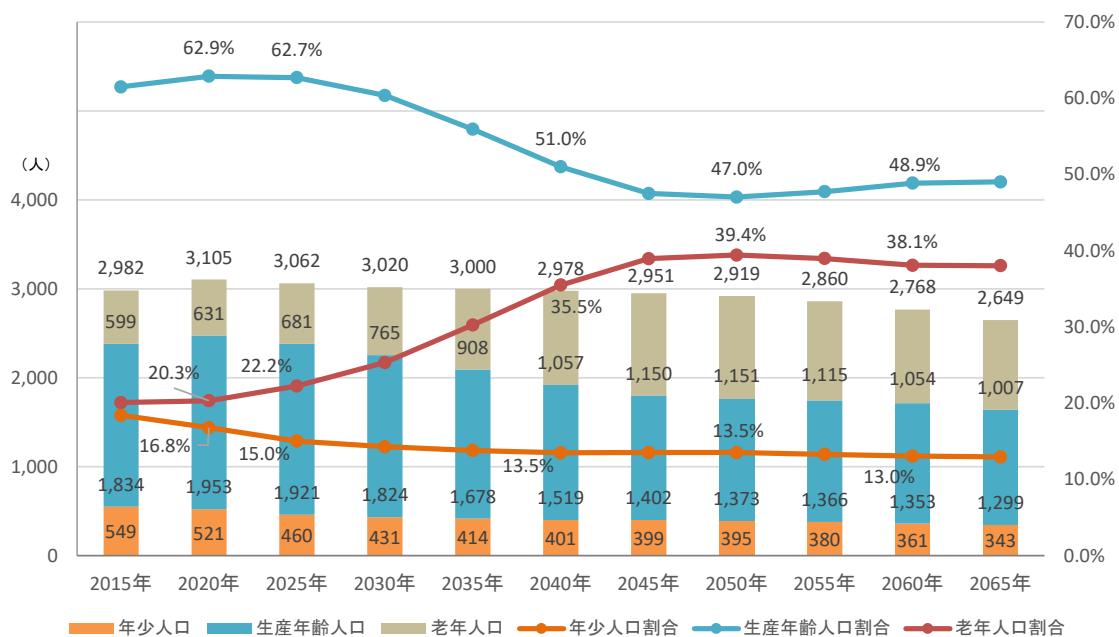
## (2) 推計結果

### ①総人口・年齢3区分別人口

総人口は、2040年において2,978人(2020年比▲127人)、2060年において2,768人(2020年比▲337人)であり、ほぼ横ばいで推移する。

老年人口比率は2050年まで上昇し約39%に達する。一方、2050年まで生産年齢人口比率は低下し約47%である。

図表 総人口・年齢3区分別人口の推計(ケース2)



注：2020年の人口は、2019年の富山県人口移動調査による男女別、5歳階級別人口を用いる。

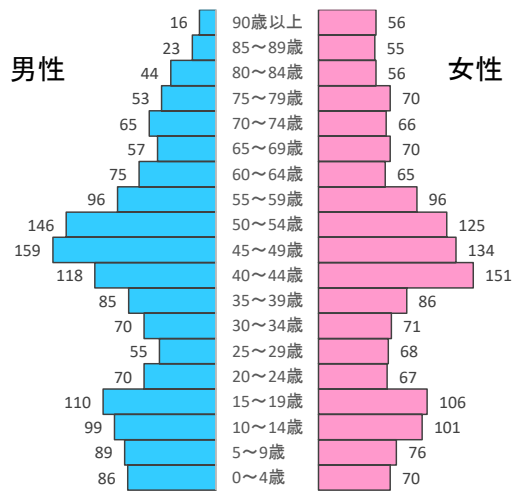
## ②人口ピラミッド

2040年では60代～70代前半の人口が多いものの、30代後半～40代前半の人口も多く、19歳以下の人口も一定みられるなど、バランスがとれている。

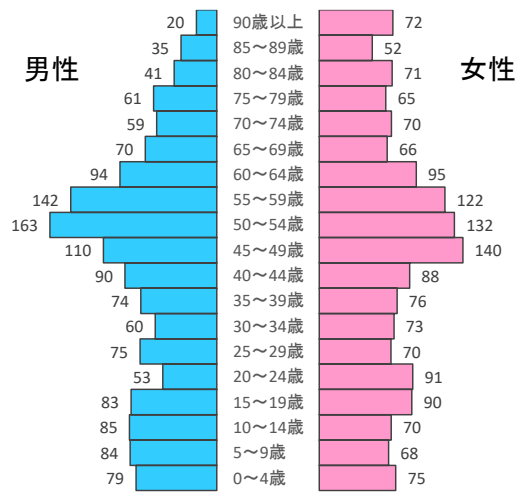
2060年においては、50代後半～60代前半の人口が多く、80歳以上の人口も多くなるものの、19歳以下の人口も一定みられるなど、大きくバランスを崩していない。

図表 人口ピラミッド（ケース2）

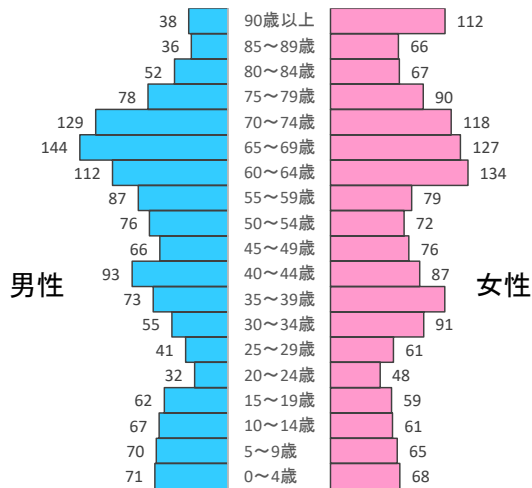
2020年



2025年



2040年



2060年

